

2016 年度 第 1 回 CPC 研究会

日 時: 5月20日 (金) 13:30 ~ 16:30

会 場: 連合会館 201 会議室

(〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3-2-11 TEL: 03-3253-1771)

参加費: 維持会員・大学官公庁関係 = 無料 / 非会員 = 20,000 円

<http://cpc-society.org/>

13:30 ~ 14:55

「スーパーグロスカーボンナノチューブ産業応用に向けた取り組み」

日本ゼオン株式会社 上島 貢 氏

- 1) スーパーグロス単層カーボンナノチューブの量産技術開発、工場建設
- 2) スーパーグロス単層カーボンナノチューブ複合材料開発、アプリケーション
- 3) まとめ、今後の展望

2004 年に産業技術総合研究所 (AIST) の畠博士らにより発見されたスーパーグロス法で作製される単層カーボンナノチューブ (SGCNT) は、長尺 (高アスペクト比)、高純度、高表面積といった特徴を有しているため、近年、高電気/熱伝導ゴム、高耐久ゴム、高熱伝導金属等への応用が検討されており、産業への応用が期待されています。本講演では、SGCNT 並びに複合材料の開発状況、並びに今後の展望について紹介します。

15:05 ~ 16:30

「炭素繊維製造技術の革新を目指して」

産業技術総合研究所 羽鳥 浩章 氏

- 1) 基礎素材の軽量化が社会にもたらすもの “炭素繊維で低炭素社会を”
- 2) 新しい原料から炭素繊維を製造する技術の世界的な研究開発動向
- 3) 日本発 “革新炭素繊維基盤技術開発” の取り組み

軽量・高強度の特徴を持つ炭素繊維は、自動車等の輸送機器の構造材料として利用することにより大幅な燃費向上が可能となるなど、低炭素社会の実現に貢献できる画期的な素材であることから、今後の大幅な需要拡大が期待されています。本講演では、近年世界的に研究開発が活発となっている、従来とは異なる原料から炭素繊維を製造しようとするいくつかの取り組みを紹介するとともに、日本で進められてきた革新炭素繊維基盤技術開発プロジェクトの成果について紹介します。

CPC 研究会 講演会事務局 行 e-mail: sec@cpc-society.org または FAX: 029-861-8712
5月20日の研究会に出席します (連合会館 201 会議室)

お名前: 維持会員 非会員 大学関係
ご所属:
Tel: Fax:
E-mail:

交通のご案内



【交通機関】

< 地下鉄 >

丸ノ内線 / 新宿線をご利用の方は地下道を通り、千代田線方面へ
東京メトロ

千代田線 新御茶ノ水駅 B3出口 (徒歩0分)

東京メトロ

丸ノ内線 淡路町駅 B3出口 (B3出口まで徒歩5分)

都営地下鉄

新宿線 小川町駅 B3出口 (B3出口まで徒歩3分)

B3a・B3b出口は、違う方向へ出ますのでご注意ください。

< JR >

JR 中央線・総武線 御茶ノ水駅 聖橋口 (徒歩5分)